

第4回 世田谷グルマンサミット

ひとくちの感動が人と街と未来をつなぐ美味しい焼き菓子づくり



先生方が作られた飴細工等のディスプレイ

世田谷総合高校、都立深沢高校、都立第四商業高校、新渡戸文化高校の生徒のみなさんもいらして、挨拶の後、それぞれ出店した商品のプレゼンがありました。ハローキャリアワークの参加した子どもたちの中から、希望した子が代表として、1セット3個入りの「スノーボール」についてプレゼンを行いました。開会式直前に決まった子でしたが、伝えるポイントを3点示しただけで、頭の中で整理し、自分の言葉で堂々と分かるように発表し、その素晴らしい

世代と地域をつなぐ食のイベント「第4回世田谷グルマンサミット」の当日です。集合時刻に子どもたちが揃い、教育委員会の担当者から今日の流れと諸注意など伝え、服装の準備をして、昨日できなかった「袋詰め」を行い、商品として陳列しました。先生方が、ディスプレイとして、飴細工や動物の練り物を作ってくださいました。そしてポスター張りや販売の手順などの確認を行い開会式の開始を待ちました。開会式では、参加する都立



袋詰め



ポスター貼り

内容に大きな拍手をいただいていた。開会式が終了し、いよいよ販売のために1階の会場に向かい、開店の準備です。全員教わった手洗いを忘れずに行っていました。販売グループは、お客様の誘導、販売（個数の確認後渡す）チケットの受け取りと役割に分かれて開店を待ちました。自由行動のグループは、2・3階とそれぞれ他のお店に向かいました。

開店の午後1時30分になり、早々に来場された方々が列を作り、「〇〇個ください」と注文されていました。お客様の入が多いので、作り置いたスノーボールがすぐに品薄になりかけ、商品の陳列を上段から下段へと移し替えました。その時、東京山手調理師専門学校の飯島副校長先生が畑で作られた「フルーツマト3種類、紫の色をしたジャガイモ」の提供があり、「食べたい」と希望した子どもたち（ほぼ全員）が、販売している後ろ側に行っていました。一口食べると「甘い、美味しい」と声が上ががり、いくつもいただいている子もいました。販売グ



準備完了



開会式でのプレゼン

ループと自由行動のグループが交代しても順調で、品薄状態になってきました。午後2時40分の終了予定に近くなり、お客様の足がお店に向かない時間帯には、子どもから「移動販売してもいいですか？」との声上がり、かごに入れて、2階・3階と販売に行きたい子どもたちが出てきました。これも活動意欲の現れで、許可をいただき回り始め、終了時には完売し、子どもたちは大満足していました。子どもたちの感想には「人に物を売るということは大変だけど、おいしく食べてくれて良かった」「人に渡す時に両手で、笑顔で渡すことができてよかった」「皆で物を作るときに協力して活動する大切さや人に物を売る喜びを感じた」など充実したハローキャリアワークになったことが分かりました。



販売開始



先生方の作品